

## 和光学園について

和光学園は、1933年(昭和8年)に成城学園から分かれ、和光学園小学校として世田谷経堂の地に設立されました。いわゆる「成城事件」の中で、成城学園創学当時の「新教育」の伝統を守ろうとする父母・教師が中心になって創立したものです。

和光学園にとっては、太平洋戦争の時期はまさにいばらのみちでした。しかし、戦後は、海後勝雄を校長に迎え、石山脩平・梅根悟らの理論家を顧問としてコア・カリキュラム連盟(現在の日本生活教育連盟)の実験学校になり、戦後の「新教育」を発展させる学校として全国から注目されることになりました。

その後、春田正治校長、丸木政臣校長によって着実な教育づくりが進められるとともに、1966年には、梅根悟を東京教育大学から迎えて、念願の和光大学を発足させ、名実ともに幼稚園から大学にいたる一貫教育が実現することになりました。

### 和光中学・高等学校への 交通機関および略図

○小田急線……鶴川駅下車  
バス：鶴川団地行き(2番乗場)  
折返し場下車

○京王相模原線……若葉台駅下車  
バス：鶴川駅行き  
和光学園下車

◎バスの本数が少ないので余裕を持っておいで下さい。発車時刻をお知りになりたい方は下記問い合わせ先までお願いいたします。

- 申込み 締切り 11月21日(土)
- 問い合わせ 電話 042-734-3401
- FAX申込み 042-734-3410
- 和光学園ホームページ <http://www.wako.ed.jp/> から和光中学または高校のページに入り、8月1日から申し込みフォームを使って申し込みます。
- メールを利用される方は、メールアドレス [kyoken@wako.ed.jp](mailto:kyoken@wako.ed.jp) から下記の「申込書」の内容に従ってお申し込みください。
- 参加費 1000円 学生無料
- 昼食 昼食が必要な方は事前にお申し込みください(代金1000円は当日受付けで)。学校近辺にはコンビニエンスストアもあります。

※「公開授業」見学だけを希望される方は、無料でご参加いただけます。

第44回 和光教育研究集会 申込書 (キリトリ線)

氏名	一般、和光保護者、学生、教員、( )	「公開授業のみ参加」 (○印)	
住所 〒		希望分科会 (○印)	
電話		1 2 3 4	
		昼食 (○印)	1. 申込む 2. 不要



# 第44回和光中学校・高等学校 教育研究集会案内

——子どもの健やかな発達を願う父母と教師の研究会——

## 主題 参加と共同による学校づくり・授業づくり

### 2015年11月22日 [日]

8:40	9:00	9:45	10:30	11:30	12:30		15:30	16:30
受付	はじめの会	公開授業	授業検討会	昼休み	分科会	全体会		

※はじめの会で中学2年生による学年合唱があります

## 和光中学・高等学校

〒195-0051 東京都町田市真光寺町1291  
☎(042)734-3401~3

- 和光幼稚園 世田谷区桜2-18-18 ☎03-3420-4352
- 和光鶴川幼稚園 町田市真光寺町1271-1 ☎042-735-2291
- 和光小学校 世田谷区桜2-18-18 ☎03-3420-4353
- 和光鶴川小学校 町田市真光寺町1282-1 ☎042-736-0036
- 和光大学 町田市金井町2160 ☎044-988-1431
- 法人事務局 町田市金井町2160 ~5

## 分科会とその内容（12:30～15:30）

分科会テーマ		
第1分科会	<b>生産・労働と結びついた『生物育成』：技術科小麦栽培と「秋田学習旅行」</b> 現行中学校指導要領で必修として「生物育成に関する技術」が新設されました。本校技術科では20年来、食料生産に関わる技術として、中2秋から中3にかけて小麦を栽培し、製粉、パン・うどんづくりに取り組んできました。また、学校行事として、中2の9月に秋田県田沢湖町にて農業体験を中心とした「秋田学習旅行」（5泊6日）を行っています。（今年で38回目） 秋田の農家で3日間農作業を経験する中で中学生は、人と出会い、働くことと出会い、そして新たな自分と出会います。学習旅行に向けて、総合学習の時間と共に技術科の授業で、事前学習を行い、現地では聞き取りをして、それをクラス毎にまとめるなかで、農家の置かれている状況を浮き彫りにしていきます。その後、班ごとに校内の畑で小麦栽培に取り組んでいます。学習旅行は収穫期という農業のハイライト的な体験なので、畑の準備から収穫・加工まで全ての工程を自分達だけでやり遂げることを大事にしてきました。 これまでの実践を報告し、教科と総合学習・学校行事の両面から、中学生の学びと成長を考えていきたいと思います。また、「生物育成」について皆さんと考え交流したいと考えています。	報告者 亀山 俊平 中山 義人  助言者 阿部 英之助 （和歌山大学特任准教授）
	<b>「なぜ？」を大切にしたい和光中学のルールづくり</b> ～「なぜ」生徒会は自ら校内でのケータイ使用禁止」を選んだのか？～ スマートフォン・携帯電話なしに中学生のコミュニケーションについて語ることはできない時代です。新しい世界を見せてくれる便利で素晴らしいツールでありながら、一生を左右するような危険と隣り合わせでもあるという複雑さ故に、正しい知識と使い方のマナーを学ぶ必要があります。 和光中学校では、目まぐるしく進化するネット機能に考え方の整理が追い付かず、数年間学校として統一のルールが定まらないままでしたが、2014年度、職員会議の議論を経て教員から生徒会に「携帯電話・スマホに関するルール案」を提示しました。生徒たちは1年間にわたる議論の末3月総会で「学校での携帯電話・スマホのルール」を決議し、教員と生徒会の2者協議会で現ルールを確認しました。その過程には色々なドラマがありました。一度「各自の判断に任せる自由なルールでやっていける。」と意思表示したのちに、3年生の間で発覚する事件を通じて、「スマホ」というツールの持つ危うさ・複雑さが認識されていきます。そして再議論が起こり…生徒会顧問の立場から、総会議論や教員とのやりとりなど、ルール化までの歩みを報告します。多くの方々と一緒に、考えていきたいと思っています。	報告者 河合 民  助言者 未定
第3分科会	<b>「高校3年の一年間」 一個の色から新たな色へ</b> 和光高校では、生徒達は3年間持ち上がりですが、担任だけは毎年変わります。昨年度受け持った高校3年3組の生徒たちは、日常生活を通して見えてきた問題点をどのように自分たちで乗り越え、改善していったのか？ 担任から見た約8ヶ月という短い生活の中で個々の対話・クラス組織などを通して、個性という色が徐々に混ざり、新たな色が次々に生まれてきた様子を報告するとともに、生徒たちが変化した分岐点を体育祭・文化祭のクラス行事や日々の生活から皆さんと検証し、共に考えていきたいと思っています。	報告者 山口 亮  助言者 未定
	<b>平和教育の可能性を考える～「戦争と史跡」講座から考えたこと～</b> 今年は「戦後70年」です。70年間、日本人が軍事行動を行って他国の人々を殺害することがなかったのは、ある意味私たち社会科教員の「成果」とも言えますが、他方で昨今の社会状況は私たちの「惨敗」ぶりを見せているようにも思えます。 「戦争と史跡」という高校2年の選択講座は、各地の史跡をフィールドワークしながら、戦争と平和について考える授業ですが、この授業を行う中で考えてきたことを報告します。 今、平和教育の課題は何なのか、どのような現状認識の下に実践を進める必要があるのか、みなさんと共に考えることができたらと思います。	報告者 橋本 暁  助言者 舟越 耿一 （長崎大学名誉教授）

## 出合いを学びに変えて

和光中学・高等学校 研究委員会

和光中学・高校は、お互いの個性を尊重し合いながら、自分たちのことは自分たちで決めるという自由と自治の精神を大切にしている学校です。生活指導においては、いろいろな考え方・生き方があることを認め合った上で、自分たちの生活をどう作るかということを集団的に考える指導を実践しています。授業においても、生徒一人ひとりが表現し、意見を述べる学習を大切にしています。教師が一方的に生徒に問うだけ・話すだけの授業ではなく、生徒たち自身が自分の「問い」を持ち、多様な意見に出会いながら、主体的に学び合える学習を目指しています。

和光教研では、私達の実践を公開し、自由と自治の精神を大切にしたい学校として何が求められているのか、参加者のみなさんから率直な意見をいただき、共に学び合いたいと思います。ご多忙の中の休日の1日、みなさんとの出合いから深い学びが生まれるように努力しております。ぜひお問い合わせの上、ご参加下さい。

## ご挨拶

和光中学・高等学校 校長 松山 尚寿

私学はいま、二つの意味で危機を迎えています。ひとつは少子化に伴う学齢人口の減少と募集難の危機。もうひとつは長引く経済不況の影響で家計が圧迫され、私学の学費負担に耐えうる中間層が細くなっているという危機です。

こうした中、政府・文科省は「道徳」の教科化やセンター入試に代わる新しい大学入試制度の導入など制度変更や教育内容への介入には熱心ですが、少人数学級の実現や教育費の保護者負担を減らそうという方向には、政府の目は向いていません。

私学が経営難に陥るとのことと、子ども・生徒の学習権の保障が危うくなるということは、実は表裏一体の問題なのです。

私たち和光中高はこうした厳しい現実を直視しながらも、これまで育んできた個性の尊重と自治の教育を柱とする和光教育の理念をさらに豊かにすべく前進しなくてはなりません。そうすることが危機打開へのひとつの解決策だと考えるからです。

そうした決意を新たにする意味においても、私たちの実践を公開し、世に問う必要があると考えます。ぜひ、多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

## 授業公開

### 高校選択授業

<b>B2</b>	<b>異文化研究</b>	相良 武紀
	異文化共生についてのディスカッション	

<b>B2</b>	<b>メディア論</b>	仲尾 洋輔
	メディアについて学ぶ	

<b>C2</b>	<b>プログラミング演習</b>	林 陽介
	Scratch と Arduino で Lチカ	

### 中学1年生必修4クラス

<b>技術</b>	亀山 俊平
<b>1-1</b>	木材加工

<b>保健</b>	大塚 早織
<b>1-2</b>	思春期との出会い

<b>数学</b>	矢澤 一行
<b>1-3</b>	連立方程式

<b>国語</b>	荒井 真由美
<b>1-4</b>	説明的文章を集団で読む

※授業内テーマは当日までの授業進度により、変更の可能性があります。